

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立野津田高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

副校長 総務主任＝事務局長、経営企画室長 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（生活指導主任）、主幹教諭（進路指導主任）、主任教諭（教務主任）、主任教諭（第3学年担当）、主任教諭（総務主任）、
計8名

(4) 協議委員の構成

地域教育関係者、近隣特別支援学校長、近隣自治会理事、
近隣中学校長（2名）、近隣消防署長、近隣警察署スクールサポーター、PTA会長、同窓会会長
計9名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月14日（金）内部委員8名、協議委員7名出席

協議委員委嘱、委員紹介、学校経営計画及び本校の現状と課題説明、教育活動報告、昨年度学校評価アンケート結果報告

第2回 令和6年10月7日（金）内部委員8名、協議委員7名出席

学校経営計画の進捗状況、教育活動報告、学校評価アンケートの内容検討、意見交換

第3回 令和7年2月14日（金）内部委員8名、協議委員7名出席

教育活動報告、学校評価アンケート結果報告、意見交換、学校運営に関する提言

(2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年10月7日（金）内部委員3名、協議委員2名出席

授業評価結果分析、今年度学校評価アンケートの内容・実施時期の検討

第2回 令和7年2月14日（金）内部委員3名、協議委員2名出席

学校評価アンケート集計結果の分析、評価報告書の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

ア 生徒は2学期の授業評価と同時に学校評価を実施し、保護者、教職員に対しては、本校の教育活動全般に関する同様の項目で学校評価アンケートを実施して比較する。

イ 地域住民に対しては、本校生徒の状況についての問いかけを中心に行う。

(2) アンケートの調査時期・対象・規模

実施時期 12月上旬～12月下旬

対象・規模 全生徒352人、全保護者350人、本校教職員46人、地域代表30人

(3) 主な評価項目

教育目標、学校の特色、学習指導、進級・卒業規定、成績評価の基準、生活指導、特別活動、進路指導、学校行事、家庭と学校との連絡・連携状況、ライフワークバランス、交通安全 等

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

全体を通して

① 肯定的回答が以下の4項目以外は、概ね全体的に前年比増となっている。

前年比減の項目：2（家庭学習：保護者）、16（体罰暴言：生徒）、21（ヘルメット：生徒・保護者）、22（自転車保険等）。

- ② 全体的に、学校は様々な実践を行っているが、それが保護者や地域に伝わっていない項目が多く見られた。これは一重に広報活動のより一層の充実を進める必要性がある。

【自由意見から】※抜粋

保護者

生徒自身に関わること

- あらゆる人間関係。合わない人でも向き合う力。時にはやり過ごす力。
- 失敗しても立ち上がる根性。
- 興味のあることに挑戦していく。

学校・教員に対して

- 担任の先生が生徒ひとりひとりに寄り添った指導をしてくださるおかげで、大変充実した学校生活を送っております。先生には本当に感謝しております。
- この度、進学にもとても寄り添って頂き、また熱心に学習指導もして頂き、無事に合格する事が出来ました。本当にありがとうございました。
- 生徒の素行指導を諦めずに粘り強く指導して欲しい。
- 教師と生徒の交流と連携が大切だと思います。生徒一人一人が日々努力して授業や学校行事に積極的に取り組み生徒同士が仲良く楽しく学校生活を送れる事が必要だと思います！
- 休んでしまったときにリモートで授業をうけられると有り難いです。
- 手紙は子供が持ってこないことが多いためメールまたはアプリでの情報提供が望ましい。
- 多摩センターからのバス停の改善。学校の近くにバス停が欲しい。

地域 服装に対して

- バス停での待つ間の態度が一部のようなのですが（小野神社前）住民の生活道ですのでバスの待つ間広がらずに進んでほしいです。
- 登下校の服装はよくなっていると思います。
- 服装に関しては規則を守っているように見える。
- 最近は公園や学校の近くでタムロしているグループ（3人～4人程度）見かけなくなりました。
- 小野神社前のバス停できちんと並んでいます。特に気になることはないです。服装・頭髮もきちんとしています。
- バス停でまっている時に一人の男子生徒が地べたにすわっていましたが私が並びはじめようとしたらきちんと立ってあいさつして下さいました。ほほえましかったです。

生徒の対応に対して

- 現在の野津校生は若者らしく元気で素直な処が良い印象です。
- 校舎周辺のゴミ拾い時々見かけます。とても良い事ですね。
- 自転車通学をしている生徒さん、信号を守ってください。
- 野津田高の生徒さんかはっきりわかりませんが、赤でも横断歩道を走ってます。（鎌倉街道）
- 部活動は皆さんよくがんばっていると思います。
- 自転車の生徒が一時停止するところでしてないので危ない。指導をお願いします。
- 自転車の二人乗りを、たまに見かけます。危ないので心配になります。
- 他地域から通って来られる人が多くなった様子がうかがえ、それにもなつてバス通学自転車通学が多い様子が特に朝はスピードのだしすぎが目立ちます。たまには二人乗りも見かけます。特にバスは小学生との相乗りになるので気を使ってほしい。良い学校になっていくことに期待します。
- 地域唯一の高校です。生徒が希望を叶えられるように期待します。

教員

- 学校の設備（トイレ、廊下、壁等）をリニューアルする。すべて古い。
- 生徒の課外活動（部活動や行事）を充実させる取り組み。
- 生徒に寄り添うという言葉が、変な解釈になり、なんでも許すということにならないよう、厳しく責任を問うという姿勢も生徒に寄り添うことであると理解してほしい。
- すべての教員が、共通の教育観で生徒を指導すること。
- 先生たちが現場で感じている課題を管理職が認知し、解決策と一緒に考えていくことがもっと必要だと考える。

生徒 学校生活に何が必要か

- もっと積極的にいじめ防止対策をする。先生たちが何もしなかったら生徒が1人で抱えるだけ
- お互いが尊重し合い、貶すことなく仲良くすることで、充実した日々が送れると思います
- 生徒のマナーや規範意識を問うもの
- 何が良くて何が悪いかを一人ひとりが判断して行動できるようにすることが必要だと思う
- 生徒一人一人協調性を持つようにする みんなが常識をもつ 積極的な意思と主体的な活動参加
- 生徒本人のやる気、努力、周りを頼る力
- 納得できないなら理由を聞く、聞いても納得できなかったのなら声を上げて訴えかけることも必要。
- 校則をきちんと守る もう少し生徒がルールを守る しっかり校則とか決まりを守って生活する
- 購買に関すること 4件
- パンを増やす 購買にパンの他にも補助食に、おにぎりも入れて欲しい！ 2件 自販機の充実 1件
- 校内環境の整備に関すること 1 2件
- 校舎をどうしても綺麗にしたい。 設備を増強する 校舎の改修 室内プール
- 生徒会を中心に生徒の意見を繁栄させること
- 生徒の意見を反映できる学校を作ること
- 生徒の意見をすぐにフィードバックできるシステム
- 授業をしっかり受ける 3件
- 授業内容が少し遅いと思うのでもう少し授業スピードを速くした方がいい 1件
- 素早いテストの範囲の提示！せめて2、3週間前には欲しい 2件
- 通学環境に関して
- 道を整備するべき、通学路として相応しくない
- 生徒自身の意欲によること 3 3件
- 生徒一人一人協調性を持つようにする みんなが常識をもつ
- 積極的な意思と主体的な活動参加 生徒本人のやる気、努力、周りを頼る力
- 学校行事の開催 2件
- 全学年の交流の場が必要だと思います 学校行事を増やしたりして生徒全員との交流が必要

先生方への要望

- 部活を活発にさせるべき、体育祭も開催してても周りの高校に劣ると思った。
- 生徒の意見を聞いてほしい
- 人嫌いの感情を表に出さないで欲しい。先生なら生徒の好き嫌いを平等に接してもらいたい。
- 指導を厳しく、平等にやるべき
- 校則だと、みんなが納得して満場一致して要らないと思う規則は全部消す。
- あと、生徒会選挙とかで生徒の意見を聞く割には何も対応して無さすぎる。
- ある時、購買でパン以外にも売って欲しいという意見があったけど、生徒の意見がどうなったかの発表で自分で言って下さいという風な回答があった。
- 制服は、社会に出て着方とかマナーにおいてはまだ必要な方かなとは思うが。
- その校則がある理由も最後まで分からなかったです。休日やればいいじゃんと言われてた方がいたけど、論点が全く違くて、メイクしたくても校則の影響で出来ない人と、校則突破してでもする人のお話を口出しせず最後まで聞く必要があると思う。

(5) 学校が良くなったと考える協議委員の割合

協議委員人数 8名

学校が良くなったと答えた協議委員の人数				
そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	そう思わない	わからない
4名	1名	1名	1名	1名

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ 生徒の授業についてのアンケート結果から、家庭学習の充実、自転車通学生徒のヘルメット着用指導の徹底、保護者への様々な形での学校情報の発信の充実が必要であると認識できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・ 近隣の住民は、以前より生徒の服装や様子を肯定的に捉えているので、今後も服装指導や挨拶指導など継続していく必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・ 生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・ 生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・ 特別な支援が必要な生徒が増加しているので、近隣と特別支援学校との連携の充実を図る。

(2) 学習指導

- ・ 家庭学習の充実を図る。

(3) 特別活動

- ・ 部活動の充実を継続していく。

(4) 生活指導

- ・ 生活指導は警察、消防署など地域と連携して継続して行っていく。

(5) 健康・安全

- ・ ヘルメット着用の徹底については、警察の講演会なども利用していく。

6 その他

- ・ 保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。